

もっと気軽に気楽にスーパービジョンを実践するために ～明日から現場で活かせる「援助者への援助」という視点～

【研修】

講師 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科
准教授 山中達也氏

- 「スーパービジョン」とは何か
- 人を「援助」することの意味
- スーパービジョン体験

【研修内容】

私たちは対人援助の専門職者として、日々苦しみを抱く利用者に対して「援助」をしています。さまざまな現場において援助実践をするなかで、その意味について意識したことはありますか。また現場で、あなた自身が援助されているという実感をお持ちですか。援助者だって、援助されて良い存在なのです。でも、残念ながら自分をケアする知識や技術を学ぶ機会はもちろん、現場にはサポートする意識もシステムも充実しているとは言えません。

そこで今回の研修では、援助者自身に焦点をあて「スーパービジョン」や「援助とは何をどうすることか」等について、受講者のみなさんとともに学び、考え、実感し、すぐに現場で活かすことができる2日間にしたいと思っています。

あわただしく忙しい毎日。大切な「私」のために、相模原市内の現場で実践をする援助職仲間とともに、援助を実感し一緒に考えてみましょう。みなさんのご参加を心からお待ちしています。

なお本研修会は、県央地区スーパービジョン研究会のメンバー等に講義・演習をご協力いただく予定となっております。

【講師紹介】

公立大学法人山梨県立大学 准教授 (社会福祉士・精神保健福祉士)

経歴 1985年～ 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

1989年～ 川崎市役所 社会福祉職(精神保健福祉センター・リハビリテーション医療センター・精神保健相談センター・中央児童相談所)

2010年～ 「援助者を援助する」ためのソーシャルワークオフィスこころみ開設

2011年～ 山梨県立大学人間福祉学部 准教授

研究テーマ こころの健康・援助者への援助・スーパービジョン・セルフケア・「援助」とは何か・対人援助境界(バウンダリー)・バーンアウト・アルコール関連問題・援助者のためのセルフヘルプグループ・事例検討 など